

## 9. 保険会社およびその子会社等の状況

### (1) 主要な業務の状況を示す指標

(単位:億円)

項目	平成21年度第1四半期 連結累計期間	平成22年度第1四半期 連結累計期間
経常収益	10,093	9,884
経常利益	254	442
四半期純剰余	198	301

項目	平成22年度第1四半期 連結会計期間末	平成21年度末
総資産	251,406	250,858

### (2) 連結範囲および持分法の適用に関する事項

連結される子会社および子法人等数	6社
持分法適用の非連結の子会社および子法人等数	0社
持分法適用の関連法人等数	0社

## (3) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	期別	平成22年度 第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日現在)	平成21年度末 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日現在)
		金額	金額
(資産の部)			
現金及び預貯金		299,042	434,566
コールローン		153,000	187,000
買入金銭債権		315,698	284,939
有価証券		17,488,677	17,042,300
貸付金		5,236,704	5,493,257
有形固定資産		1,033,327	1,040,662
無形固定資産		64,598	66,923
代理店貸		1,121	1,662
再保険貸		2,131	2,524
その他資産		280,272	279,772
繰延税金資産		256,543	247,391
支払承諾見返		24,616	20,024
貸倒引当金		△15,064	△15,135
資産の部合計		25,140,671	25,085,889
(負債の部)			
保険契約準備金		22,973,730	22,749,441
支払備金		124,917	135,041
責任準備金		22,438,651	22,283,750
社員配当準備金		410,161	330,649
代理店借		13	11
再保険借		2,184	2,477
その他負債		545,890	609,183
退職給付引当金		639	618
役員退職慰労引当金		724	724
偶発損失引当金		4,033	3,809
価格変動準備金		187,127	185,264
再評価に係る繰延税金負債		115,928	118,623
支払承諾		24,616	20,024
負債の部合計		23,854,889	23,690,179
(純資産の部)			
基金		60,000	60,000
基金償却積立金		350,000	350,000
再評価積立金		452	452
連結剰余金		157,832	247,275
基金等合計		568,285	657,728
その他有価証券評価差額金		661,179	678,829
繰延ヘッジ損益		△4,941	△6,519
土地再評価差額金		73,366	77,829
為替換算調整勘定		△17,087	△17,413
評価・換算差額等合計		712,516	732,725
少数株主持分		4,979	5,256
純資産の部合計		1,285,781	1,395,710
負債及び純資産の部合計		25,140,671	25,085,889

## (4) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	平成21年度第1四半期連結累計期間	平成22年度第1四半期連結累計期間
		〔平成21年4月1日から 平成21年6月30日まで〕	〔平成22年4月1日から 平成22年6月30日まで〕
		金 額	金 額
経 常 収 益		1,009,305	988,475
保 険 料 等 収 入		774,993	799,138
資 産 運 用 収 益		179,925	140,459
(うち 利息及び配当金等収入)	(	113,686)	( 119,212 )
(うち 金銭の信託運用益)	(	0)	( 0 )
(うち 有価証券売却益)	(	16,234)	( 2,301 )
(うち 特別勘定資産運用益)	(	49,660)	( — )
そ の 他 経 常 収 益		54,387	48,877
経 常 費 用		983,816	944,184
保 険 金 等 支 払 金		618,970	559,235
(うち 保 険 金)	(	236,793)	( 179,003 )
(うち 年 金)	(	100,217)	( 107,273 )
(うち 給 付 金)	(	144,585)	( 138,955 )
(うち 解 約 返 戻 金)	(	121,245)	( 119,452 )
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		185,073	154,831
責 任 準 備 金 繰 入 額		184,797	154,570
社 員 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額		276	261
資 産 運 用 費 用		27,739	86,604
(うち 支 払 利 息)	(	911)	( 777 )
(うち 有価証券売却損)	(	10,488)	( 22,415 )
(うち 有価証券評価損)	(	1,011)	( 10,597 )
(うち 特別勘定資産運用損)	(	—)	( 43,124 )
事 業 費 用		91,327	89,839
そ の 他 経 常 費 用		60,704	53,673
経 常 利 益		25,489	44,290
特 別 利 益		46	358
固 定 資 産 等 処 分 益		15	358
そ の 他 特 別 利 益		30	—
特 別 損 失		3,778	11,472
固 定 資 産 等 処 分 損		280	1,015
減 損 損 失		1,285	7,421
偶 発 損 失 引 当 金 繰 入 額		143	224
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		1,750	1,860
社 会 厚 生 事 業 増 進 助 成 金		270	270
そ の 他 特 別 損 失		47	680
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 剰 余		21,757	33,176
法 人 税 及 び 住 民 税 等		1,759	2,976
法 人 税 等 調 整 額		302	62
法 人 税 等 合 計		2,061	3,039
少 数 株 主 損 益 調 整 前 四 半 期 純 剰 余		19,696	30,137
少 数 株 主 損 失		△170	△38
四 半 期 純 剰 余		19,867	30,176

## (5) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	平成21年度第1四半期連結累計期間	平成22年度第1四半期連結累計期間
	〔平成21年4月1日から 平成21年6月30日まで〕	〔平成22年4月1日から 平成22年6月30日まで〕
	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純剰余(△は損失)	21,757	33,176
減価償却費	5,689	5,797
減損損失	1,285	7,421
支払備金の増減額(△は減少)	△11,268	△10,129
責任準備金の増減額(△は減少)	184,808	154,592
社員配当準備金積立利息繰入額	276	261
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4	△70
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10	19
価格変動準備金の増減額(△は減少)	1,750	1,860
利息及び配当金等収入	△113,686	△119,212
有価証券関係損益(△は益)	△57,603	117,050
支払利息	911	777
有形固定資産関係損益(△は益)	264	407
その他	△75,657	△36,955
小 計	△41,466	154,997
利息及び配当金等の受取額	125,482	129,230
利息の支払額	△1,575	△1,226
社員配当金の支払額	△37,680	△43,801
法人税等の支払額	△3,036	△2,731
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,723	236,469
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預貯金の純増減額(△は増加)	△3	△0
買入金銭債権の取得による支出	△7,100	△11,100
買入金銭債権の売却・償還による収入	1,815	2,448
有価証券の取得による支出	△939,653	△1,485,163
有価証券の売却・償還による収入	929,392	885,966
貸付けによる支出	△270,666	△217,669
貸付金の回収による収入	326,728	474,238
債券貸借取引受入担保金の増減額(△は減少)	△99,287	△27,703
資産運用活動計	△58,775	△378,983
(営業活動及び資産運用活動計)	(△17,051)	(△142,514)
有形固定資産の取得による支出	△1,865	△5,631
有形固定資産の売却による収入	759	2,821
無形固定資産の取得による支出	△1,583	△1,109
その他	△243	△150
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,707	△383,054
財務活動によるキャッシュ・フロー		
借入れによる収入	101	—
借入金の返済による支出	—	△1
基金利息の支払額	△1,043	△1,043
その他	△158	△238
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,100	△1,282
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,035	160
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△20,048	△147,707
現金及び現金同等物期首残高	754,477	626,482
現金及び現金同等物四半期連結会計期間末残高	734,429	478,774

注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

平成22年度第1四半期連結会計期間末

1. 重要な会計処理の原則及び手続の変更

当第1四半期連結累計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(平成20年3月31日 企業会計基準委員会)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(平成20年3月31日 企業会計基準委員会)を適用しております。

この結果、従来の方法によった場合と比べ、有形固定資産が2,626百万円増加し、資産除去債務がその他負債に3,340百万円新たに計上されております。また、経常利益が33百万円減少し、税金等調整前四半期純剰余が714百万円減少しております。

2. 簡便的な会計処理及び四半期特有の会計処理

(1) 親会社の四半期貸借対照表については、前年度の剰余金処分案が7月2日の総代会にて承認されることを前提としております。

(2) 親会社の税金費用については、当第1四半期連結累計期間を含む会計年度の税引前当期純剰余に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純剰余に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、親会社の法人税等調整額は、法人税及び住民税等を含めて計算しております。

また、親会社の繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前年度末以降に経営環境等および一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前年度末において使用した将来の業績予測およびタックスプランニングを利用する方法によっております。

3. 親会社の責任準備金には、保険業法施行規則第69条第5項の規定に基づき、平成8年4月1日以前に契約締結した個人年金保険契約について、予定利率2.75%を用いて保険料積立金を計算したことにより生じた差額を追加して積み立てることとしたもの(平成19年度から3年間にわたる積立てを完了。なお、年金開始する契約の年金開始後部分は、平成22年度以降も年金開始の都度積立て)が含まれております。

4. 社員配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

前連結会計年度末現在高	330,649百万円
前連結会計年度連結剰余金よりの繰入予定額	123,038百万円
当第1四半期連結累計期間社員配当金支払額	43,801百万円
利息による増加等	275百万円
当第1四半期連結会計期間末現在高	410,161百万円

5. 7月2日の総代会にて承認された定款変更を受け、保険業法第60条の規定により基金を60,000百万円募集し、7月23日に払込みが完了しております。

6. 基金60,000百万円を7月16日に償却いたしました。

7. 担保に供されている資産の額は、有価証券3,010百万円であります。

8. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券(現金担保付債券貸借取引による有価証券を含む)の貸借対照表価額は、905,725百万円であります。

9. その他負債には、他の債務よりも債務の履行が後順位である旨の特約が付された劣後特約付借入金100,000百万円を含んでおります。

## 注記事項

### (四半期連結損益計算書関係)

平成22年度第1四半期連結累計期間				
1. その他特別損失は、資産除去債務に関する会計基準の適用に伴って発生した、前年度以前の減価償却費等に相当する金額であります。				
2. 親会社の当第1四半期連結累計期間における減損損失に関する事項は、次のとおりであります。				
(1) 資産のグルーピング方法				
保険事業等の用に供している不動産等については、保険事業等全体で1つの資産グループとしております。また、保険事業等の用に供していない賃貸不動産等および遊休不動産等については、それぞれの物件ごとに1つの資産グループとしております。				
(2) 減損損失の認識に至った経緯				
不動産市況の悪化等により、一部の資産グループに著しい収益性の低下または時価の下落が見られたことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。				
(3) 減損損失を認識した資産グループと減損損失計上額の固定資産の種類ごとの内訳				
	用途	件数	減損損失(百万円)	
			土地	建物
			計	
	賃貸不動産等	2件	5,250	638
	遊休不動産等	25件	680	845
	合計	27件	5,931	1,484
				7,416
(4) 回収可能価額の算定方法				
回収可能価額は、賃貸不動産等については物件により使用価値または正味売却価額を、遊休不動産等については正味売却価額を適用しております。なお、使用価値については見積乖離リスクを反映させた将来キャッシュ・フローを2.48%で割引いて算定しております。また、正味売却価額については不動産鑑定評価基準に基づく鑑定評価額等から処分費用見込額を差し引いた価額、または公示価格等を基準にした評価額等をもとに算定しております。				

## 注記事項

### (四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

平成22年度第1四半期連結累計期間	
1. 四半期連結キャッシュ・フロー計算書における現金及び現金同等物は、手許現金、随時引き出し可能な預金および容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3ヵ月以内に償還期限の到来する短期投資からなります。	
2. 現金及び現金同等物の当第1四半期連結会計期間末残高と四半期連結貸借対照表上に記載されている科目の金額との関係は次のとおりであります。	
現金及び預貯金	295,600百万円
コールローン	153,000百万円
買入金銭債権	29,989百万円
有価証券	185百万円
現金及び現金同等物	478,774百万円

### (6) セグメント情報

平成22年度第1四半期連結累計期間(平成22年4月1日から平成22年6月30日まで)において、当社および連結される子会社および子法人等は、生命保険事業以外に損害保険事業等を営んでいますが、当該事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、セグメント情報の記載を省略しています。